

印西市環境推進市民・事業者会議からの意見（掲載案）

R2.12.18

基本目標	番号	委員名	意見	分類	掲載案
基本目標1 緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して	①	小山委員	農業の衰退と開発による里山環境の劣化と生きものの種類と数の激減の現状を踏まえ、希少生物の生息・生育環境などの谷津や水辺の保全システムを条例として策定し、実施のための予算措置をとるなど、自然と共生するまちづくりのための具体的で実行力のある保護・保全政策を早急に策定されたい。策定にあたっては、都市マスタープランや景観条例なども取り入れて、環境保全課だけでなく、市政全般にわたって適用する	谷津	農業の衰退や里山環境の劣化などの現状を踏まえ、谷津や水辺環境の保全を図り、市の関連計画とも連携した具体的で実効力のある施策の推進に努められたい。
	②	橋本委員	谷津や水辺の保全について条例を策定し、市の他計画とも連携の上、予算措置とともに、具体的で実行力のある取り組みの実施に努められたい。 (市民への外来生物についての情報発信・耕作放棄地などへの農政課との連携)	谷津	
	③	白川委員	里山、竹林、耕作放棄地に対する市民の活動をBack UPする補助金制度の新設等を検討しその整備・保全を推進し緑地保全に努められたい。	里山	里山保全団体に対する補助金制度の検討など、里山や竹林、水辺環境等の保全及び希少生物・植物を守り育てる取組を推進されたい。
	④	福井委員	里地里山、竹林等を守るボランティア団体を増やし、補助金などを充実する。	里山	
	⑤	福井委員	里地里山、小川等の希少生物・植物を守り育てる活動を推進する。	里山	
	⑥	小山委員	生きもの調査に当たっては、いるかないかだけでなく、生息・生育地域の変化（谷津の荒廃の進み具合、台地の状況など）や生息数などの量的変化もわかる調査とされたい。以前の調査についても参考としてほしい。	自然環境調査	自然環境調査にあたっては、以前の調査も参考とし、生物の生息・生育域の変化や生息数等の量的変化もわかる調査とされたい。
	⑦	土肥委員	市民農園の拡大に対しては、区画数のほかに面積、使用人数等の指標での評価も検討していただきたい。	その他	市民農園については、区画数のほかに面積、使用人数等も併せて把握し、利用の拡大を図られたい。
	⑧	橋本委員	印旛沼の保全と近辺の市の所有地の活用にもっと力を入れていただきたい。	その他	印旛沼を保全するとともに、その近辺にある公有地の活用を検討されたい。
	⑨	朝倉委員	印西市には身近に沢山の緑地や自然がありますので、お金をかければいくらでも出来ると思います。的がはずれていたらスマセンが、ぶらり川めぐりの六軒川と弁天川の両サイドを遊歩道にしてハイキングコースとして使用できたら良いと思います。	その他	緑や水辺を身近に感じられるよう、ぶらり川巡りの六軒川と弁天川の両サイドをハイキングコースとして活用されたい。
	⑩	平林委員	基本計画全体にSDGsの考え方を取り入れる。	意見	—
	⑪	川村委員	環境指数の状況における各データが基本目標にあう内容なのか疑問に思います。保全活動団体の数が多ければ良いとは言えません。活動内容まである程度把握しているのでしょうか？	意見	—
	⑫	川村委員	設定農業者数も後継者が不足し高齢の為、農業が出来ず委託するケースが増えていていると思います。1経営体あたりの農地面積が増えているのではないのでしょうか？	意見	— (農業従事者の高齢化や後継者不足等を受けて、農業者数を維持するための施策を検討されたい。)

印西市環境推進市民・事業者会議からの意見（掲載案）

基本目標	番号	番号	意見	分類	掲載案
基本目標2 安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して	①	朝倉委員	大気汚染改善については、企業としては、助成金などの対応を考えていただき改善を進める。	大気汚染	大気汚染について、PM2.5を継続的に観測するほか、光化学オキシダントなどの大気汚染対策について具体的な施策を検討されたい。
	②	平林委員	大気汚染PM2.5継続的観測。 ※1	大気汚染	
	③	平林委員	光化学スモッグの原因究明と対策。 ※1	大気汚染	
	④	小山委員	下水道や浄化装置を通さず、水路や河川に直接流す汚染水については、流入阻止のための強制力ある条例を策定されたい。	水質	印旛沼・手賀沼の水質保全のため、下水道の整備・合併処理浄化槽の導入促進等従前の取組に加えて、汚水の排水に係る具体的な施策を検討されたい。
	⑤	白川委員	師戸川の水質悪化対策は喫緊の課題と認識し、合併浄化槽の導入促進等従前の対応にとどまらず水質改善に向けた具体的施策を推進されたい。	水質	
	⑥	橋本委員	下水道の整備、合併浄化槽の導入を更に推進するとともに、水路や河川への汚染水の流入について条例の策定に努めることで、印旛沼・手賀沼の水質保全に取り組まれたい	水質	
	⑦	福井委員	合併浄化槽の推進を図る。	水質	
	⑧	小山委員	激烈化する自然災害対策として、斜面林や谷津などのグリーンインフラを活用するため、里山地域の管理システムを早急に整備されたい。	グリーンインフラ	斜面林や谷津、農地などのグリーンインフラは、防災機能や保水機能を有していることから、自然災害対策としてグリーンインフラを活用するため、里山環境の保全施策を進められたい。
	⑨	小山委員	谷津、台地、水辺などからなる農業景観や地形は、グリーンインフラとして防災機能や保水機能、生物多様性保持機能などを有し、生態系サービスも含めて、市民や市に大きな恩恵をもたらすため、重要性はますます高まっていることを記述するとともに、グリーンインフラの機能を活かす具体的な政策（耕作放棄田対策や台地と水辺の開発に際しての配慮事項、下記の保全システムなど）を検討されたい。 ※2	グリーンインフラ	
	⑩	平林委員	農業環境＋インフラを考える。グリーンインフラの発想を取り入れ農業と里山生態系を守る施策を進める。 ※2	グリーンインフラ	
	⑪	土肥委員	道路交通騒音測定については、複数年同一の測定場所で実施することで変化についても評価していただきたい。	騒音	
	⑫	岩井委員	【資料編】資-25にpm2.5の大気濃度測定データも追加して欲しい。	意見	
	⑬	福井委員	防犯カメラの設置を促進し、町内会などに防犯カメラを設置する場合の補助金などを充実する。	意見	—

※1 事務局案により、基本目標4から基本目標2に変更

※2 事務局案により、基本目標1から基本目標2に変更

印西市環境推進市民・事業者会議からの意見（掲載案）

基本目標	番号	番号	意見	分類	掲載案
基本目標3 都市としての魅力が あふれる、快適なまちを 目指して	①	白川委員	不法投棄発生件数が高水準で推移しているのは大きな問題です。引き続き警察、自治会との連携強化を図り監視カメラの増設・巡回強化等実行推進されたい。	不法投棄	監視カメラの増設や自治会・市民との連携による監視体制の強化など、ごみを捨てにくい環境づくりを推進することで、不法投棄の発生抑制に努められたい。
	②	橋本委員	不法投棄に対し、カメラ設置個所を増設し抑制の推進をされたい。	不法投棄	
	③	平林委員	不法投棄・ポイ捨て対策に関して市民と連携した監視体制の充実を図る＝監視カメラの増設。	不法投棄	
	④	朝倉委員	誰が見てもきれいでゴミを捨てたく無い環境作り（積極的にゴミ拾いをした人にはエコポイントなどをつけるシステム作り） ※3	不法投棄	
	⑤	福井委員	ゴミゼロの回数を年2回ではなく、年4回にする方向で検討していただきたい。	ごみ	ゴミゼロ運動の実施回数を増やしたり、ごみ拾いボランティアを募集するなど、環境美化意識向上のための取組を推進されたい。
	⑥	福井委員	ゴミ拾いボランティアの募集を検討していただきたい。	ごみ	
	⑦	小山委員	ニュータウン隣接地（市街化調整区域・農地転用区域）の宅地造成については、里山地域の景観や生態系を崩さないよう基準を再検討されたい。	都市開発	ニュータウン隣接地の宅地造成については、里山地域の景観や生態系に配慮した基準を検討されたい。
	⑧	平林委員	土地利用景観ビジョンを明確にする。	都市開発	
	⑨	橋本委員	ふれあいバスの運行拡大やそれに代わる移動手段を市内全域に格差なく配慮されたい。	交通	交通不便地域対策として、ふれあいバスの運行拡大や将来的な自動運転バスの導入を検討するなど、市域全域に格差のない公共交通の充実を図られたい。
	⑩	福井委員	ふれあいバスの拡大（地域的にも・時間的にも増便）を図る。将来的には自動運転バスの導入などを検討していただきたい。	交通	
	⑪	白川委員	交通不便地域対策としてふれあいバスの更なる充実を検討願いたい。 ※3	交通	
	⑫	朝倉委員	ふれあいバスの運行については大型バスの通れない所を細かく回数多くする事によって住み良い町になります。 ※4	交通	
	⑬	橋本委員	市域の文化財について、イベント等の開催を通じ、市民への普及を努められたい。	文化	市域の歴史や文化について、イベント等を通じて市民への普及を図るとともに、地域のお年寄りから話を聞けるような活動を学校で実施するなど、市の歴史・文化の伝承に努められたい。
	⑭	川村委員	市内各地域ごとの歴史について古い文献や物を見るだけでなく、中学校等のクラブ活動などとしてその地域のお年寄り等から話を聞き取りまとめる活動をしたらどうでしょうか？ 文献にもないことがたくさん出てくると思います。	文化	
	⑮	平林委員	印西市の歴史・文化の伝承。市民への活動推進する。 ※5	文化	
	⑯	平林委員	高齢者が安心して暮らせる街作り。	意見	—
	⑰	朝倉委員	現在、住みやすい町の1位になって宣伝されているので、全国に知れわたっています。北総線の運賃の問題を解決したら最高だと思います。（昔、印西牧の原でコスモまつりがありました。できれば再開して欲しいです）	意見	—
⑱	岩井委員	【資料編】資-30の数値目標の表で不法投棄件数の目標(H27)と目標(H33)に市民からの通報件数が記載されているのはおかしい。また同じところに実績(H29)が二つあるのはおかしい。データは二つあるので、後半の実績(H29)は、実績(H30)の間違い？	意見	—	

※3 事務局案により、基本目標4から基本目標3に変更 ※4 事務局案により、基本目標2から基本目標3に変更 ※5 事務局案により、基本目標5から基本目標3に変更

印西市環境推進市民・事業者会議からの意見（掲載案）

基本目標	番号	番号	意見	分類	掲載案
基本目標4 低炭素社会の構築に向けた、地球環境に負荷を与えないまちを目指して	①	平林委員	食品ロス削減を推進する。 ※6	ごみ減量	食品ロスやプラスチックごみの削減等、ゴミの分別・減量化に向けた取組を更に推進し、循環型社会の構築に努められたい。
	②	平林委員	プラスチックごみの減量化の推進。 ※6	ごみ減量	
	③	白川委員	一層のごみの分別、減量化の推進を図り循環型社会の構築に努められたい。	ごみ減量	
	④	橋本委員	ごみの分別及び減量化の一層の推進を図り、循環型社会の構築に努められたい。	ごみ減量	
	⑤	岩井委員	環境白書にある「総資源化率」（H30年度で18.1%）は量販店での回収や民間の廃品回収等は含まれていない。その実績も市は把握していない。これではいつまでたってもR3年度の目標である30%に達しない。量販店や民間の廃品回収業者等から年間回収量を報告してもらい、それを資源に加えるべきである。 ※7	資源化	総資源化率の算出にあたっては、民間回収量の把握にも努められたい。
	⑥	岩井委員	交通の便が悪いところに住む高齢者は買い物や病院通いに苦労されています。行きたいときに数人で予約するとタクシーかバスが来て、目的地まで運んでくれる交通システムが全国的に今注目されています。それが「オンデマンド交通」です。料金も安く、CO2の排出量が少ない交通システムです。成田市でも今年度からテスト的に（一回500円で）実施されています。印西市でもぜひ採用してください。	温暖化	印西市として2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明を行うとともに、脱炭素社会の構築に向けて、オンデマンド交通の採用や公用車の電気自動車への切替などの取組を推進されたい。
	⑦	川村委員	政府が脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素排出実質ゼロに取り組むことを表明しました。印西市でも公用車を電気自動車に替えるなど見えるものから行って欲しいです。	温暖化	
	⑧	平林委員	2050年ゼロカーボンシティ＝CO2ゼロ表明。印西市として表明。	温暖化	
	⑨	小山委員	ニュータウン地区などに新たに建設される住宅や企業社屋、工場については、太陽光パネルを屋上に設置するなどを推進する条例など、積極的な施策を検討されたい。	温暖化	ニュータウン地区などで新たに建設される住宅や事業所、工場について、太陽光パネルの設置を促進する等、積極的な施策を検討されたい。
	⑩	福井委員	ウォームビズを家庭でも進めて、暖房費の削減を図る。1枚多く羽織る。	温暖化	環境家計簿の普及を図るとともに、ウォームビズなど市民におけるクールチョイス活動の普及促進に努められたい。
	⑪	福井委員	環境家計簿の普及促進を図る。	温暖化	
	⑫	福井委員	クールチョイス活動を市民に普及促進していただきたい。	温暖化	
	⑬	橋本委員	気候変動に対する適応策の具体化・普及に努められたい。	気候変動	気候変動の影響を軽減するため、適応策の具体化・普及に努められたい。
	⑭	土肥委員	環境指標としてリサイクル率を追加する検討をしていただきたい。	意見	—

※6 事務局案により、基本目標2から基本目標4に変更

※7 事務局案により、基本目標1から基本目標4に変更

印西市環境推進市民・事業者会議からの意見（掲載案）

基本目標	番号	番号	意見	分類	掲載案
基本目標5 環境配慮行動の実践者を拡大し、みんなで環境を育てるまちを目指して	①	岩井委員	小中学校で環境教育の充実をはかり、現在世界的に注目されている気候変動と地球温暖化対策（緩和策と適応策）に関する基礎知識の授業を義務付けるようにされたい。	環境教育	出前講座の実施など、小中学校における環境教育の充実により、自然環境や地球環境への意識向上を図るとともに、気候変動や温暖化対策に関する基礎知識をカリキュラムとして組み込まれたい。
	②	橋本委員	小中学校における環境教育の充実を図り、意識向上に努めるほか、地球温暖化対策をカリキュラムに組み込まれたい。（小中学校への出前講座の実施）	環境教育	
	③	平林委員	環境学習の推進・小中学校での授業時間の確保。	環境教育	
	④	平林委員	S D G s の17科目に対する学習会。	環境教育	
	⑤	福井委員	小学校、中学校の環境教育の機会を増やし、地球環境、自然環境への関心の促進を図る。	環境教育	
	⑥	朝倉委員	シルバー世代から小、中、高、学生、市民全体が環境教育の充実、意識向上に努めたい。市民が積極的に関わるシステムが大切だと思います。	市民参加	自然と都市機能に恵まれている印西市の魅力を将来にわたって守るため、子供への環境教育の充実とともに、シルバー世代の持つノウハウの活用等により、世代を通じて市民が環境保全活動に関わる仕組みづくりに努められたい。
	⑦	白川委員	人材育成の重要性を認識し、子供達への環境教育の充実と同時に環境保全活動へのシルバー世代（Know Howの共有）の活用策も積極的に推進されたい。	市民参加	
	⑧	小山委員	自然と都市機能に恵まれている印西市の魅力を将来にわたって保持するため、里山保全活動に市民が積極的にかかわるシステムを検討されたい。	市民参加	
	⑨	平林委員	環境保全のための市民参加（体験）の仕組み作り。	市民参加	
	⑩	小山委員	市民が自然に親しむだけでなく、自然を守ろうという意識付けをするために、守りたい自然や守りたい地形などを見える化するマップ作り（グリーンインフラマップなど）について、市民を巻き込んで実施されたい。	その他	自然に親しむだけでなく、自然を守ろうという意識を市民に持ってもらえるよう、守りたい自然や地形を見える化するマップ作りを市民を巻き込んで実施されたい。
	⑪	小山委員	里山の生態系やグリーンインフラ機能を保持するため、斜面林管理や草刈りなどを実施する地域市民や保全団体等に対して、市からの助成を検討されたい。	その他	里山の生態系やグリーンインフラ機能を保持するため、斜面林管理などを実施する環境保全団体等に対して、市からの助成等を検討されたい。
	⑫	橋本委員	環境について活動している市民団体の把握とそのネットワーク作りをして頂きたい。	その他	環境について活動している市民団体の把握とネットワーク作りに努められたい。